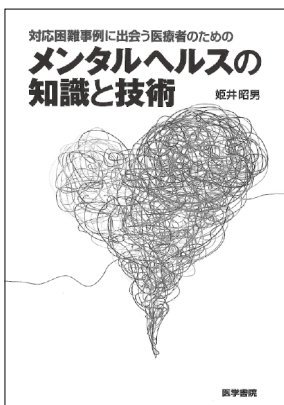


ベナー ナースを育てる

著：P. ベナー，M. サットフェン，V. レオナード，L. デイ
訳：早野 ZITO 真佐子
A5 版・388 ページ
定価：4,200 円(本体 4,000 円+税 5%)
発行：医学書院 (TEL 03-3817-5657)

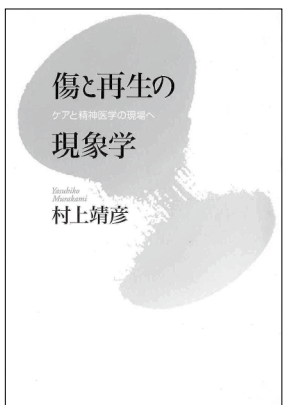
科学やテクノロジーの発達による医療現場と看護実践の性質の変化、深刻化する看護師不足と教員不足……，こうした現状のなかでナースをどのように育てていくべきかは，喫緊の大きな課題である。ベナー博士が上席研究員を務めるカーネギー財団の助成による大型の全米看護教育研究を通して指し示される，いま看護に必要な変革と未来への展望とは——。全看護職者必読，ベナー博士による待望の 1 冊。



対応困難事例に出会う医療者のための メンタルヘルスの知識と技術

著：姫井昭男
A5 版・224 ページ
定価：2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)
発行：医学書院 (TEL 03-3817-5657)

『保健師ジャーナル』で好評だった連載が書籍として新装。本書の約 2/3、150 ページを占めるのが第 2 章の「対応に困りやすい疾患」である。代表的な 9 つの疾患をめぐって，その疾患の特徴と事例，対応策を具体的に展開し，要点も「ポイント」として簡潔にまとめられているのでわかりやすい。多様化する現代のメンタルヘルス対策に向けて，明日からでも実際の業務に活用できる 1 冊。



傷と再生の現象学 ケアと精神医学の現場へ

著：村上靖彦
四六版・302 ページ
定価：2,310 円(本体 2,200 円+税 5%)
発行：青土社 (TEL 03-3294-7829)

『自閉症の現象学』『治癒の現象学』に続く著者の最新刊。「あとがき」では，看護研究が本書の成立にもたらしたインパクトについて触れ，第 5 章を，看護研究から得たものを形にしていくな「前触れ」としている。「看護，リハビリテーション，介護，心理療法などの世界を通して，思いもかけない仕方で変化していく人間の姿を描き出す哲学の新境地」——本書を通じて看護研究が得るインパクトもきっと，大きい。⇒本誌 44 巻 1 号焦点「現象学的研究における『方法』を問う」での著者の論考もぜひ！